

三十八球目

平成31年度のアクション



市長 梶原純夫

皇太子さまの新天皇即位に伴い、

5月1日に新元号が施行されます。改元にあたっては、行政システムの改修期間を一定期間確保するなど国民生活の混乱を避けることを重視し、4月1日に公表される予定となっております。

来年度は、元号の変更のみならず、消費税率10%への対応も求められており、市民の皆様が暮らしに支障をきたすことの無いよう現在、準備を進めているところです。

今回は、平成31年度以降、市民の皆様のご生活に関連した事項についてご紹介いたします。

クラシティブースポートセンターの開設

4月1日からは、市民交流センター（クラシティブース）でバスポートの申請・受け取りが始まります。

手続きに必要な収入印紙や愛知県収入証紙も同じフロアで販売します。新たなサービスとして、これまで平日でしか受け取れなかったバスポートが、日曜日の午前中（9時～12時）も受

け取り可能となります。

バスに乗って「おでかけ」しませんか

昨年10月から、既存の知多バス路線の見直しに合わせ、地区路線バス「ごんくる」を運行しております。

「ごんくる」をご利用いただいている市民の皆様からは、「車両のデザインがかわいい」「運賃も安くなり、便数も多くなったのでとても便利になった」「買い物や近くの病院通いが楽になった」といった温かいお声をいただいています。

一方で、朝夕にバスが頻繁に遅延する状況や、乗り継ぎ時の不便さ、わかり難さが課題として指摘されています。

31年度は、バスの運行状況等がスマートフォンで確認できる「バスロケーションシステム」を導入するとともに、皆様のご意見をもとに、バス路線やダイヤの見直しを進めてまいりますので、地区路線バス「ごんくる」を始め、市内の路線バスを応援していただきますようお願いいたします。

新半田病院について

2月4日、私は片岡憲彦常滑市長と「半田市と常滑市の病院連携協議に関する合意書等」に調印いたしました。これにより、全国でも例を見ない、半田病院と常滑市民病院という同じ急性期の二つの病院の診療統合、経営統合に向けて、大きな一歩を踏み出しました。

同月13日には、新病院を半田運動公園多目的グラウンド東側に接し、知多南部総合卸売市場の南側帯に広がる農地に建設する事を公表いたしました。

老朽化した半田病院の移転先については、新病院建設候補地検討委員会の答申を尊重し、半田運動公園周辺に建設することを市民の皆様にお伝えし、多目的グラウンドを中心に、何度も案を作成しては、熟考に熟考を重ねてまいりました。

そして、市民の皆様にとって市街地に近く病院へのアクセスが良いことや、多目的グラウンドの解体費や代替施設の整備費等が不要となること、公園

利用者の皆様に長期間ご不便をおかけしないことなどの理由から、先に述べた場所に建設することが、本市にとって最善の策であると決断いたしました次第です。

また、新病院の経営形態につきましては、地方独立行政法人化に向けて具体的な協議を進めてまいります。

今後も引き続き、市民の皆様のご理解をいただきながら、地域にふさわしい新病院の建設を目指してまいります。

第7次半田市総合計画の策定

現在計画期間中の第6次半田市総合計画の計画期間の満了を平成32年度（2020年度）に控え、次期のまちづくりのビジョンである第7次総合計画の策定作業に取り掛かります。

策定にあたっては、市民の皆様のご意見を幅広く頂戴するため、公募や無作為抽出による参加依頼をさせていただきます。

本市がまちづくりを進めるうえで、基本となる計画の策定に参加できるだけでなく、半田のまちを今以上に知ることができ、今以上に好きになれる、またとないチャンスです。

将来に向けての計画ですので、ぜひ若い方（18歳以上）にも参加していただきたいと思っています。みんなできょうに半田の未来を語り合ひましょう。